

2006 春日井市民第九演奏会



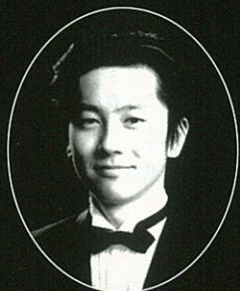
指揮
マーク・ライベル



ソプラノ
福住 恭子



アルト
宮澤 優子



テノール
平尾 憲嗣



バス
ダニエル・オーレンシュレーガー

とき 2006年12月3日(日) 午後3時開演
午後2時開場

ところ 春日井市民会館

入場料 1,000円 [全自由席] (消費税込)

指揮 マーク・ライベル
ソプラノ 福住 恭子 テノール 平尾 憲嗣
アルト 宮澤 優子 バス ダニエル・オーレンシュレーガー
管弦楽 春日井市交響楽団 合奏指導 加藤完二
合唱 春日井第九合唱団 合唱指導 吉川 朗

曲目 ベートーヴェン作曲
交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」

■チケット取扱い場所(発売日10/5(木)より)■
春日井市民会館・文化フォーラム春日井2F文化情報プラザ・春日井市役所2F情報コーナー・春日井市内各ふれあいセンター(味美、高蔵寺、南部、西部)・坂下公民館・清水屋案内所・サンマルシェ案内所・ルネック7F管理事務所

主催/春日井市・春日井市教育委員会・(財)かすがい市民文化財団
2006春日井市民第九演奏会実行委員会
共催/春日井市交響楽団・春日井第九合唱団
後援/中部大学・中日新聞社

お問い合わせ先

2006春日井市民第九演奏会実行委員会 ☎0568-51-1111
春日井市文化課 ☎0568-85-6079

指揮者 マーク・ライベル

Marc Reibel

1973年にドイツのシュバイヤーで生まれました。ライン川に沿ったこの街はユネスコの世界遺産に登録された大聖堂で有名です。マークは、8歳のときからピアノのレッスンを受け始めました。ハイデルベルグ＝マンハイム音楽院に進み、ピアノを習いました。同時に、シュトゥットガルトの音楽院で指揮を修めました。この間、有名なシュトゥットガルト・フィルを始め、ロイトリンゲン・フィルやバーデン・バーデンフィルなどの指揮をしています。ピアニストとしても多くのコンクールで優勝し、ソリストとし

て多くの演奏会も開いています。2001年から、リンツ州立劇場の専属指揮者として、《魔笛》《後宮からの誘拐》《カルメン》《売られた花嫁》《こうもり》《サウンド・オブ・ミュージック》などなど、数々のオペラやオペレッタやミュージカルを指揮しています。2004年には、リンツのブルックナー・オーケストラを率いて、ウィーン・コンツェルトハウスを始め、オーストリアの各地で指揮をしています。今回、初来日。

ソプラノ 福住 恭子

Fukuzumi Kyoko

大阪音楽大学卒業、同大学院オペラ研究室修了。2001年よりミラノ（イタリア）に留学。ミラノをはじめ、シチリア島・マントヴァなどイタリア各地でコンサートに出演するなど積極的に活動している。豊かな声量と、あふれる音楽性、親しみやすいキャラクター。彼女の奏でる天性の声は、人々の心に大きな感動と喜びを与えている。

第21回イズマエレ・ヴォルトリーニ国際コンクール（イタリア）第2位。第1回国際声楽コンクール（マントヴァ・イタリア）第2位。オペラでは「トゥーランドット」リュウ役、「イル・トロヴァトーレ」レオノーラ役等を好演。

アルト 宮澤 優子

Miyazawa Yuko

新潟市生まれ。国立音楽大学卒業。現在、ミラノ・シチリアを中心にイタリア各地で演奏活動を行っている。新潟市音楽コンクール最優秀賞受賞。ヴェルツェリ国際コンクール入選。05年10月、新潟にてイタリア・ミラノのスカラ座・ヴェローナ野外劇場などでの主役経験を持つヴィンチェ

ンツォ・ブーマ氏をゲストに迎えリサイタルを開催、好評を得る。05年11月、名古屋港イタリア村にて15日間連続のオペラティックコンサートに出演。カティア・ロローヴァ氏に師事。ミラノ在住。

テノール 平尾 憲嗣

Hirao Noritsugu

国立音楽大学卒業、同大学院オペラコース修了。小澤征爾音楽塾「ラ・ボエーム」のロドルフォ役など多数の舞台に出演。その他、東京オペラの森、日本ロシアニ協会、ヴェルディ協会主催によるオペラやコンサートに出

演し、東京都交響楽団・九州交響楽団とも共演する。第4回オペラティックバトル第1位。現在、国立音楽大学演奏補助員・藤原歌劇団団員。

バス ダニエル・オーレンシュレーガー

Daniel Ohlenschlager

リンツを中心に、オペラや歌曲や宗教曲などを歌い、その美しい声と豊かな声量で人気を博している若手のバリトンです。オーストリアのリンツのブルックナー大学でバリトンを修めました。1997年から今年まで、リンツの州立劇場の歌曲祭に出演。オペラのデビューは《ドン・ジョヴァンニ》のレポレロで、その後、《ファルスタッフ》のフォードや《フィガロの結

婚》の伯爵、《タンホイザー》のヴォルフラムや《魔笛》のババゲーノといった主役や主役級を歌っています。そのほか、バッハやハイドンの作品にも数多くソリストとして出演。2006年の今年も、レポレロを歌い、ハイドンの「天地創造」でオーストリア・ツアーを重ねています。

管弦楽 春日井市交響楽団

市民オーケである春日井市交響楽団は、「第九の演奏会を春日井でも開きたい」という私たち市民の希望から生まれました。市内の音楽愛好家を中心になって、「市民が演奏し、市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」が、1990年（平成2年）11月に創立されました。愛称「カポ」（KAPO）は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カポ」（capo 頭・先頭に立つ者）の思いもあります。毎年、の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、

数多くのオーケストラ活動を行っています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などからなる60名。私たちにあって、最大の喜びは、一人でも多くのみなさまに演奏会においでいただき、クラシック音楽を好きになっていただくことです。そのために、「春日井で名曲の名演奏を」と心がけています。今年の「第九」も、大いに自信があります。ぜひ、お出かけ下さい。

(団長・花村浩克)

合唱 春日井第九合唱団

平成5年12月の春日井市制50周年は、市民の手によるベートーヴェンの「第九演奏会」の春日井初演によって盛大に祝われました。この演奏会を記念して作られたのが、「春日井第九合唱団」です。以後、毎年12月には、新しく募集した市民も加わって、220名を越すメンバーが常に新鮮なベートーヴェンの「第九交響曲」を歌い継いできています。創立以来、ベテランの吉川朗先生をはじめ、多くの優れた音楽家のご指導で、技術的にも、音楽的にも、完成度の高い「第九」演奏を心がけています。平成7年からは、年末の「第九」の本練習に入る前に、特別練習として数々の合唱作品に挑

戦しています。本年6月17日（土）には、モーツァルト生誕250年を記念致しまして、「ミサ曲 KV220」と「アヴェ・ヴェルム・コルプス」を、文化フォーラム春日井の交流アトリウムにおいて、「アトの祭り」の演奏会に出演いたしました。今年14回になる「第九」はマーク・ライベルさんの指揮で、さらに美しいベルカントな演奏が出来るものと張り切っています。ご期待下さい。

(団長・山田伊素子)

〈市民の最大の歓喜の源泉である「春日井市民第九演奏会」へおいで下さい〉

「歓喜は神々の火花である」と私たちは、毎年、この「春日井市民第九演奏会」で歌ってきました。私たちの心を一つにするのは、多くの仲間と共に「喜び」を感じたときです。さあ、そしていよいよ、今年も、春日井市民の最大の感動の源泉である恒例の「春日井市民第九演奏会」が始まります。特に今回は、オーストリアのリンツから指揮者のマーク・ライベルさんとバリトンのダニエル・オーレンシュレーガーさんをお招きしました。そして、テノールには二度目の平尾憲嗣さんに、新たにソプラノの福住恭子さんとアルトの宮澤優子さんが加わります。今年もまた、ウィーンの正統的な「第九」であり、技術的にも極めて充実した「第九」であることを自負しています。200名を越す合唱団と一緒に、春日井市民のみならず、一年分の喜びと感動をまとめてお贈りする「春日井市民第九演奏会」です。市民のための、市民による、市民の「第九」に、ご家族おそろいでお出かけ下さい。お待ちしております。

春日井市民第九演奏会音楽監督 都築正道（中部大学教授）

※都合により出演者の変更がある場合があります。